



# 福島中だより

## 5月号

H28.5.2発行  
文責：校長

4月は家庭訪問等で大変お世話になりました。また、先日の参観日・PTA総会では、お忙しい中、またお足もとの悪い中ご参加いただきありがとうございました。今年度も参観日や体育大会等で、学校での子どもたちの様子やがんばる姿を見ていただく機会や場をつくります。保護者の方、地域の方々のたくさんのご参加をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

### ◆◆◇ 福島中最後の1年が輝くために、一人一人ができること ◇◆◆

先日、市内の女性から、匿名で以下のようなお褒めのお電話がありました。

朝、運動公園付近をウォーキングをしていたら、自転車で後ろから近づいてきた（3年生ではないかと思われる）男子生徒が「おはようございます！」と元気のよい大きな声であいさつをしてくれました。しばらくすると今度は（1・2年生と思われる）3人組の女子生徒に出会いました。するとこの子たちも、元気よくあいさつをしてくれたので、あいさつを返したあとに「がんばろうね！」と声をかけたら、「はい！」と笑顔で応えてくれました。朝からとてもすがすがしい気持ちになりました。福島中の生徒は素直で元気な子が多いんですね。子どもたちから元気をもらいました。ありがとうございました。

福島中最後のこの1年を、最後にふさわしい1年にしたい。70年の歴史の中で1番輝いた一年だったと言ってもらえるようにしよう、ということをいろんな場面で生徒たちに話しています。生徒も、この1年が大切な1年であることはよく分かっていて、「これまでの福中を超えるようになりたい」というようなことを、いろんな生徒がいろんな場面で話してくれました。ではどうすれば、それを現実のものにすることができるのでしょうか？そのために、自分にできることは何でしょうか？例えば、一人一人が勉強をがんばること、例えば、体育大会や学習発表会などの学校行事で今まで以上のものを創り上げることなどがあるでしょう。また、部活動の大会やコンクール等でよい結果を残すことも福島中を輝かせることになるでしょう。しかしもっと身近な生活の中にも、福島中を輝かせること、そのために誰にでも取り組めることがあるのではないのでしょうか？

お電話をいただいた女性が出会った福中生は、何も特別なことをしたわけではありません。しかし、きちんとした挨拶ができるということは、それだけで周りの人を幸せな気分にするのでできるのだというところがあらためてよく分かります。ほんのちょっとしたことですが、このように、どこでも誰にでも元気な挨拶ができる生徒が増えていくと、きっと「福中の生徒はいいね」という評判がたち、福島中を輝かせることにつながっていくのだと思います。

逆に、地域の方からお叱りの電話をもらうこともあります。一番多いのが「中学生が自転車で道いっぱいに広がって帰っている。危ないし通行の邪魔だ。何とかしてくれ！」というものです。並進は交通ルール違反であり危険な行為であることはもちろんですが、周囲の迷惑を考えない自分勝手な行動の表れだということができます。このようなことがあると、いくら勉強や行事で頑張っても、部活動でいい成績を上げたとしても、福島中の評判は悪くなり、輝いた1年になどなるはずがありません。

地域ではいろんな人が皆さんを見守ってくれています。福島中の最後の1年が輝いた1年になるかそうでないかは、生徒の皆さんの普段からの行動にかかっているのではないのでしょうか。社会のルールを守ること、周囲へ気を配った行動ができること、いつでもどこでも元気でさわやかなあいさつができること、誰にでも親切に接することができること…そんな、当たり前のことを当たり前にできること、そして、その積み重ねこそが、福島中を輝かせる上で最も大切なことではないか。そんなことを、女性からの電話をもらって考えました。

### ●●○ 愛情と責任をもう一度伝えましょう ○●●

思春期・反抗期の子どもの子育てについて書かれた本を手にする機会がありました。もしかすると中学生になったわが子に手を焼いているご家庭もあるのではないかと思います、紙面の関係で、ほんの一部ですがご紹介します。菅原裕子氏（NPO法人ハートフルコミュニケーション代表）の文章です。関心のあられる方は、図書館等で借りるなどして読んでみてはいかがでしょうか。

\*\*\*\*\*  
わたしは、「18才からはその子の人生」と思っています。自分自身も18才で家を出ましたし、娘もそうでした。そのために7歳までに自立の準備をし、15才までに自分をコントロールして人生を選択できるように訓練しなくてははいけません。残りの3年間は、一緒に暮らしながら「一人で暮らせるか」を親が確認する時期。思春期は子育ての最終局面です。今一度ここまでの育児を見直してみてください。最重要課題は「愛することを教えているか」といことです。わが子が「親の愛情に不安を感じている」と思えるなら、照れている場合ではありません、本気の愛情をストレートに表現しましょう。次に大事なことは「責任を学んでいるか」です。朝起こしても起きない、言われないと勉強しない、といいうのは責任を学んでいない証拠。干渉をやめて、子どもの自主性に任せるのがいちばんです。むずかしいことではありますが、是非とも腹をくくって親の本気を見せてください。  
(「うちの子もしかして反抗期?と思ったら読む本」主婦の友社 より)

### 5月の主な行事

- 2日 (月) リフレッシュデー
- 3日 (火) ●憲法記念日
- 4日 (水) ●みどりの日
- 5日 (木) ●こどもの日
- 12日 (木) 避難訓練
- 16日 (月) リフレッシュデー
- 19・20日 (木・金) 中間テスト
- 24日 (火) 生徒総会
- 27日 (金) くしま学郊外学習 (1年)

\*\*\*\*\*